

令和5年度第1回契約監視委員会議事録

1. 日時・開催方式: 令和5年7月5日 10:00～12:00 於東京事務所(Web 会議とのハイブリッド形式)

2. 出席者:

委員 鈴木 一夫 (藤光・鈴木法律事務所 弁護士)
委員 辻 純一郎 (J&T 治験塾 塾長、公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団評議員)
委員 加藤 暢一 (加藤公認会計士事務所 公認会計士
国立大学法人東北大学経済学研究科会計大学院 教授)
委員 鈴木 裕子 (国立研究開発法人理化学研究所 監事)
委員 渡辺 その子 (国立研究開発法人理化学研究所 監事)

3. 説明者等:

筑波事業所 研究支援部 小西部長
同 経理課 菅沼課長、下埜調査役
横浜事業所 研究支援部契約課 駒井課長 薄葉副主幹 青山主査
情報システム室 鶴岡室長
情報システム部情報基盤課 岩崎副主幹
同 鈴木技師
神戸事業所 研究支援部関戸部長
同 経理課 松田主査
播磨事業所 研究支援部 生越部長
同 契約課 大塚課長 岸本副主幹
SACLA ビームライン基盤グループデータ処理系開発チーム 初井チームリーダー
契約業務部 星野部長 中村次長
同 契約第1課 今井課長 高橋副主幹
事務局 監事・監査室 馬淵室長 池本調査役 木村調査役 日紫喜主査 松尾室員

4. 議事の概要:

(1) 会議開催について

新型コロナウイルス感染症が5類相当に引き下げられたことにかんがみ、対面とWebのハイブリッド形式による委員会を開催した。また、本会議に先立って、「調達等合理化計画(2022年度調達等合理化自己評価(案)および2023年度調達等合理化計画(案)」について事前にメール審議を行って承された。

(2) 前回議事概要の確認について

事前に委員に確認いただいた前回議事概要を承認した。

(3) 令和4年度第4四半期締結契約の点検について(リスト点検)

当期契約全572件について、事前に配布した資料を俯瞰した見解を確認した。

(4) 令和4年度第4四半期締結契約の点検について(個別点検)

当期契約全572件から委員が選定した計6件の契約について、資料にもとづき各契約担当者から説明を受けた後、質疑応答を行った。

(件数内訳: 和光2件、横浜1件、神戸1件、播磨1件)

(契約種別内訳: 一般競争入札3件(物品2件、役務1件)、総合評価1件(役務1件)、競争性のない随意契約2

件(物品1件、役務1件))

今回は、契約の各々について、個別点検票の項目をベースに、仕様書、契約書の内容、予定価格の立て方等について質疑応答を行い、競争性、透明性、契約価格の妥当性の確保がなされているか検討した。

各事業所ともにできる限りの取組み・検証を行っているものの、次のような点の指摘・確認等があった。

- 1) 円安の影響で、内外価格差が広がっている。外国製品を取り扱うにはより丁寧な検討が必要。また、海外調達品の場合、他国はどのくらいの価格で購入しているかも調べるべきではないか。
- 2) 年度末に契約を締結し、履行期限が6月末といったものがあるが、なるべく会計年度内に完結していることが望ましい。
- 3) 競争性のない随意契約においても、できる限りの値引き交渉に努めるべき。
- 4) より多くの企業の参入を促すために、仕様書の書き方に一層の工夫の余地がある。
- 5) 特殊な物品の調達、特殊な技術要件の役務など、一般競争入札に馴染まない案件は、なかなか応札者があられず、期限内に対応可能な相手先が限られる、もしくは見つからないといった事態も想定されるため、詳細な検討のうえ、公募型随意契約(随意契約事前確認公募)を検討すべき。

(5)報告事項

1)第4期中長期目標中間期間・大臣評価への対応について

契約業務部長より説明があった。公告期間の確保、競争参加者の掘り起こし、適切な調達手段の検討等について確認した。安全保障上の理由は随意契約理由書に書くべきなのかという質問があったが、安全保障上の観点を除き、手続き的な面での記載としている、との説明があった。

(6)その他

次回、令和5年度第2回委員会は、2023年12月を予定。諸般の状況を勘案し、日程調整を行うこととする。

5. 議事の詳細

令和4年度第4四半期締結の契約点検(個別点検)に係る討議事項

(1)令和4年度第4四半期締結の契約点検(個別点検)の内訳

1)一般競争入札3件

①物品契約(事例①、③)

②役務契約(事例④)

2)総合評価1件

①役務契約(事例⑤)

3)競争性のない随意契約2件

①物品契約(事例②)

②役務契約(事例⑥)

(2)個々の事例の点検結果の詳細

以下に個別契約の点検時における説明者と委員のやり取りを記す。

事例① 断熱消磁冷凍機システム

【委員からの質問と契約担当部署説明内容】

1) (委員)本機器は米国製だが、取り扱い代理店の数、他社製品のスペックと取り扱い代理店等について精査をおこなったか(業者情報としては総代理店とある)。また、何を参考にして仕様書を書いたか。

(説明者)高価かつ希少な液体ヘリウム寒剤を用いることなく、光子数検出器動作に要求される極低温環境(50mK以下)が実現できる断熱消磁冷凍機システムの調達が必須であることから、代表的なメーカーである FormFactor 社と Entropy 社の製品を検討したが、Entropy 社の製品はトラブルが頻発した事案を知っていたため、FormFactor 社のカタログを参考に仕様書を作成した。

2) (委員) Entropy 社のトラブルは、機器に起因するものか。

(説明者) その通り。

(委員) 機器に問題があることが明らかなこと、すなわち求められているスペックが出せないことが証明できること、またそれを当該メーカーも納得させられるということであれば、一般競争入札としてではなく、公募型随意契約(随意契約事前確認公募)とし、「問題がある」、とした者には、機会を与えつつ、納入品のクオリティを確保する、という方法が望ましいように思われる。

(委員) 競合 1 者の機器性能が改善可能であれば、仕様書の縛りを緩くして一般競争ということも考えられるが、本件の場合、随意契約にならざるを得ないのかとも思われる。随意契約に至らなかったのは、そこまでの確信が持てなかったのかも知れない。

(委員) ここで検討された問題意識を今後の契約締結に生かしていただきたい。

3) (委員) 他にダウンロードした会社はどこか？

(説明者) ロックゲート株式会社

4) (委員) 公告期間を十分にとったことは評価できる。

【委員会の講評】

特定の会社からの調達を意図して仕様書を作成していたものと考えられるところであり、そもそも一般競争入札が適当であったかには疑問の余地がある。

事例②多量子ビットデバイス用無冷媒希釈冷凍機システムへの高密度配線増設

【委員からの質問と契約担当部署説明内容】

1) (委員) 価格交渉はしたか。

(説明者) してはいるが、値引きはできないと言われた。

2) (委員) 海外製品を取り扱うことは①税金が投入されても国内企業の育成にならない、また、②円安により内外価格差が一層広がっているの、丁寧な検討を要する。

3) 契約審査委員会で検討された内容を確認。

4) (委員) 海外製品調達の場合、他国での販売(または購入)価格をできるだけ調査すべき。

【委員会の講評】

海外製品の調達事案においては、他国における調達価格の調査に努め、価格交渉の可能性を探っていただきたい。

事例③生死細胞判定自動解析装置

【委員からの質問と契約担当部署説明内容】

1) (委員) 今回入札を見合わせた2者は、本来ならば、対応(取り扱い)可能であったのか。

(説明者) 可能であった。しかしながら個別点検票に書いた事情により、入札を見合わせた。すなわち、時間の都合により、見合わせたものである。

2) (委員) 声掛けをしたのは全部で何者か。

(説明者) 今回入札した者および、前記入札を見合わせ者の全部で3者。

【委員会の講評】

必要な努力はされているものと評価できる。なお一層、入札参加者の拡大に向けて努力をお願いする。

事例④無線 LAN SNR 情報取得システム導入

【委員からの質問と契約担当部署説明内容】

1) (委員) 情報基盤課で理研全体の機器の発注をまとめることはできないか。

(説明者) キャンパス各箇所の Wi-Fi 等の品質を測定しないとできない。

(委員)では、品質が揃えば、できるということか。

(説明者)その通り。

2)(委員)予定価格と落札価格の差(落札率 69.45%)について。

(説明者)この製品は、大企業などが通信の品質をみるために使うもの。今回は、試験的に導入した。

3)(委員)この製品(システム)は、加工しないと使えないのか。

(説明者)加工しないと使えない。

4)(委員)期末(3月末)間近の契約締結となっている。実際に使い始めたのはいつか。

(説明者)履行期限後の6月から。

(委員)できる限り、会計年度内に契約から履行期限の到来まで完結できるようにすべき。

【委員会の講評】

今回の調達の実験を経験を他所にでも生かしていただきたい。契約の時期についても検討が必要。

事例⑤創業 DX のための大規模 DB 構築とターゲット探索ワークフロー構築

【委員からの質問と契約担当部署説明内容】

1)(委員)仕様書の内容から、一般競争の入札の範囲を超えてはいないか。共同研究として外注するレベルではないのでは。

(説明者)複数の業者に聞き取りをしたが、高度な内容で実施困難だとのことで、分割して発注した。本件の参考見積は2者を参考にした。入札のためのダウンロードをしたのは、入札企業含めて3者。

(委員)ダウンロードした残りの2者はどこか

(説明者)Amazon web services と富士通株式会社

(委員)技術的に困難だと予想できるのであれば、最初から分割発注を検討しても良かったかと思われる。

2)(委員)個別点検票には、仕様の見直しについては、「仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている」と書いてある一方で、業者等からの聴き取りについては、「仕様書をダウンロードのうえ応札しなかった2者のうち、1者は、仕様の詳細すぎるという回答であり、もう1者からは、回答は得られなかった。」とある。仕様書の書き方については、改善の余地がある。

3)意見招請を行った社について確認。

4)(委員)共同研究開発案件として入札しても良かったかと思われる。大規模計算機で創業に資するデータベース(DB)を構築する、ということ自体研究・開発事項なので、競争入札で業者を選定できればDBを構築できるというものでもなく、手続き自体が適切ではないように思われる。この点、どのように改善していくのか、担当理事、関係部署とも議論してまいりたい。

(委員)より一層適正な契約が実施されるよう改善をいただきたい。

5)(委員)発注した業務の中間確認はおこなっているか。

(説明者)行っていない。

【委員会の講評】

一般競争入札という方法の選択が適当であったのか、疑問が残る。案件の進め方、手続の選択について検討してもらいたい。

事例⑥X 線 CMOS センサの大規模タイリングにおける信頼性向上のための開発に対する支援業務

【委員からの質問と契約担当部署説明内容】

1)(委員)知的財産(知財)に関する契約について、相互が発明した場合の知財の所有権の関係はどうなっているか。

(説明者)相互のものとなる。本件においては生じていない。

2)(委員)随意契約理由書に、本件の技術は高度でかつ日本独自のものと前向きに書いてもよいのではないだろう

うか。

(説明者)指摘された点は意識していないわけではないが、理由書にはそこまで踏み込んで書かなくてもよいことになっているので、客観的な性能を述べる範囲にとどめた。

- 3)(委員)一般管理費が定価見積書における支援業務と報告書作成費(工賃と材料費)の合計額の13%となっている。材料費が高額で、履行期間が15日と短期間の中でこの割合は、高くないだろうか。

(説明者)本件は業者の人海戦術に与るところの案件だったので、容認した。

【委員会の講評】

必要な努力はされているものとする。一般管理費について、交渉の余地があれば交渉してもらいたい。

以上

(参考)

個別点検案件一欄

事例番号	連番等(「」内は件名)	個別点検抽出理由	新規／更新	応札者数	入札回数
①	契約業務部 契約第1課 一般競争:物品(和光79) 「断熱消磁冷凍機システム」 仁木工芸株式会社	・高額案件 & 落札率100%の理由、 予定価格の立て方、競合他社状況について。 ・相手先の信用調査はどのように行ったのか。(契約先の従業員は少数、 歴史もあり、大丈夫だと思うが念のため拝聴したい。)	新規	1	1
②	契約業務部 契約第1課 競争性のない随契:物品(和光172) 「多量子ビットデバイス用無冷媒希釈冷凍機システムへの高密度配線増設」 ロックゲート株式会社	・随契理由の説明を受けたい。	新規	—	—
③	筑波事業所 研究支援部 経理課 一般競争:物品(筑波1) 「生死細胞判定自動解析装置」 理科研株式会社	・落札率100%の理由、予定価格の立て方、競合他社状況等について。	新規	1	1
④	横浜事業所 研究支援部 契約課 一般競争:役務(横浜51) 「無線 LAN SNR 情報取得システム導入」 東京エレクトロデバイス株式会社	落札率が低く、競争がなされているように思われるので、その経緯について拝見したい。	新規	1	1
⑤	神戸事業所 研究支援部 経理課 総合評価:役務(神戸63) 「創薬 DX のための大規模 DB 構築とターゲット探索ワークフロー構築」 三井情報株式会社	落札率100%。年度末(3月29日)の契約。	新規	1	1
⑥	播磨事業所 研究支援部 契約課 競争性のない随契:物品(播磨129) 「X 線 CMOS センサの大規模タイリングにおける信頼性向上のための開発に対する支援業務」 ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社	高額かつ100%落札率の案件。予定価格の立て方等随契理由の説明を受けたい。	新規	—	—

以上